



2023年11月7日

各 位

会 社 名 株式会社ジャックス
代 表 者 名 取締役社長 村上 亮
(コード番号 8584 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取締役上席執行役員 末弘 昭仁
(TEL 03-5448-1311)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、当社の現状を分析・評価し、改善に向けた対応方針を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状の分析・評価

中期3カ年経営計画「MOVE 70」の2年目となる当社グループでは、持続的な成長と企業価値の向上を目指し、4つの3年後のあるべき姿を掲げ、これらの実現へ向けた戦略の実行と各種施策の取り組みに注力しています。

そうした中、当社のROE（自己資本利益率）は、2023年3月期まで2期連続で10%を上回り、株主資本コストを上回る水準にあります。一方で、当社のPBR（株価純資産倍率）は、堅調な業績を背景とした株価の上昇を受けて改善傾向にあるものの、2023年10月末時点の株価は5,150円、PBRは0.85倍となり、1倍を下回っています。

当社のPBRが1倍を下回っている理由としては、持続的な成長に対する株主や投資家からの十分な理解が得られず、成長性への信頼が不十分なこと、株主還元策への期待値が不足していることから、PER（株価収益率）が低い状態にあると認識しています。

2. 対応方針

当社では、持続的な成長への理解促進と期待値の向上、株主還元策の強化に取り組み、株式市場からの評価指標であるPBR1倍を早期に目指します。

項目	取り組み	指標
事業戦略	ERM（統合リスクマネジメント）の推進と事業ポートフォリオマネジメントによる事業収益の極大化	【ROE】 10%以上 【PBR】
財務戦略	ALM（資産及び負債の総合管理）による財務健全性の向上と調達多様化	1倍以上 【配当方針】
非財務戦略	IR活動の強化と対話の推進によるステークホルダーの満足度向上 ESG経営の推進	連結配当性向は35%を目安として、安定的な利益還元を実施 ※中期経営計画「MOVE 70」の最終年度（2025/3期）までに段階的な引き上げを実施する方針

参考

単位：億円	2021/3期実績	2022/3期実績	2023/3期実績
連結営業収益	1,606	1,640	1,735
連結経常利益	165	267	317
親会社株主に帰属する 当期純利益	117	183	216
配当性向	30.8%	30.2%	30.4%
1株当たり配当金	105円	160円	190円
ROE	7.2%	10.3%	11.1%
EPS	340.69円	528.97円	624.60円
株価	2,269円	3,080円	4,390円
PBR	0.46倍	0.57倍	0.75倍
PER	6.66倍	5.82倍	7.42倍

※配当性向、ROE、EPS、株価、PBR、PERは各期末時点の数値

以上